

会議等結果報告書

名称	第1回観光開発審議会
日時	令和5年11月10日(金) 18時30分～19時15分
場所	役場3階第2会議室
出席者	委員：青野範子、遠藤純、松田靖司、西木晴彦、加藤祐一、菊地昭男、野口雅史（敬称略） 町：町長、企画商工観光課長、担当主幹、担当主事
内容	<p>司会進行：企画商工観光課長</p> <p>●開会（企画商工観光課長）</p> <p>1 辞令交付</p> <ul style="list-style-type: none">・町長が各委員の席に移動して、辞令書を交付。 <p>2 町長あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none">・委員承諾と本日の審議会出席のお礼。・現在の観光振興計画が終わり次の取組みを進めるための第3次観光振興計画を策定するため、各委員のご意見を伺いながら進めてまいりたい。 <p>3 審議会会長及び副会長の選出について</p> <p>課長：選出方法については上富良野町観光開発審議会条例第4条の規定に基づき、委員の互選となっていることを説明し互選の方法を打診。特に意見がなかったため、事務局案を提示</p> <p>主幹：会長には、かみふらの十勝岳観光協会の青野範子会長、副会長にはフラワーランドかみふらの伊藤仁敏社長（当日欠席）にお願いしたい旨の提案を行い、了承、事務局案どおり会長及び副会長が決定した。</p> <p>4 議事</p> <p>議案に沿って事務局より説明</p> <p>【質疑応答】</p> <p>（1）報告事項 今後のスケジュールについて（加藤委員）</p> <ul style="list-style-type: none">・年度内に計画完成のため、逆算して審議会開催などのスケジュールを調整すればよい。 <p>→次回の開催前に、事前に計画のたたき台を委員へ送付することとした。</p> <p>（2）審議事項 観光振興計画の構成・意見交換</p> <p>【ジェットコースターの路】</p> <p>（事務局）</p> <ul style="list-style-type: none">・オーバーツーリズムとは異なるが、ジェットコースターの路における対策（農地立入、路上駐車、ゴミのポイ捨てなど）について、次回のたたき台に盛り込みたい。

(西木委員)

- ・計画中に「農」の文字が一つも出てこないためピンとこないが、農業振興計画の策定委員にもなっておりそちらではジェットコースターの路に関する議題も上がっている。

(加藤委員)

- ・我々は農業景観を見せる側であり、いかに農業者に対して迷惑にならないかを考えることが重要。最も心配しているのが虫の被害かと思われる。

→モデルケースの中で盛り込みたい。

(青野委員)

- ・行政側で看板設置などの対策が必要では。

(野口委員)

- ・看板設置しても観光客は絶対に立ち入る。ただ設置するのではなく、どのような理由で立入禁止となっているのか、理解してもらえるような内容にするべき。

(事務局)

- ・逆転の発想で、立ち入ってもよい農地を町で整備するなど。駐車スペースがあり、景観スポットがあり、お金を落として町へ誘導するという整備ができれば理想的。

(加藤委員)

- ・この地域の優れた魅力・景観を楽しんでもらうことを指針として、どう策定内容に盛り込むか。

【インバウンドについて】

(事務局)

- ・インバウンドに関して行政側から見えにくい部分も多くあるが、コロナ前後で金の使い方について変化などあるか。

(松田委員)

- ・インバウンドも回復傾向にある。撮り鉄マニアの被害も問題となっている。上富良野は最高のロケーションである。

(加藤委員)

- ・中富良野の富田ファーム付近で、観光客対策として開発局が片側2車線にしたがオーバーフローし、渋滞となった。富良野駅付近のホテルでは宿泊客の98%が外国人との情報もある。

(事務局)

- ・コロナ禍とともに旅行形態も変化しているかと思うが、団体→個人の旅行になると事業者のメリットなどはあるか。

(加藤委員)

- ・飲食店ではインバウンドをよく見かける。団体が入れるところは限られている。

(松田委員)

- ・現在は個人の方が多い。富良野や美瑛は団体が多い。日曜日営業の町内飲食店が少なく、案内できず困っている。

(菊地委員)

- ・家の前にグランピング施設があるが、夏場はお客さんが相当入っている。オーナーは人間的にいい人で、客を温泉に送ったりしている。地域に馴染んでいる。

5 その他

- ・次回の審議会開催時期について、12/4～の週で調整することとした。